人権啓発紙
輝きびと
人権=心のマーク
R6.11.1
No. 123
発行者　大津市政策調整部
人権・男女共同参画課
TEL 528-2791・FAX 527-6288

特集：子どもの居場所は、地域のいい場所

第47回（令和5年度）「わたしと人権」特選作品

★詩の部

道

道は自分でつくるもの？
道をつくる人
道を設計する人
別に自分ひとりでつくらなくてもいい

道をまっすぐ歩く人
よりみちしながら歩く人
道のまん中を歩く人
道のはしっこを歩く人
急いで歩く人
ゆっくり歩く人

ちかみち
まわりみち
せまいみち
広いみち

好きな道を好きな速さで好きなように
すすめばいい

打出中学校　3年（当時）
川那辺舞香さん

★ポスターの部

「いこう平和へ」
粟津中学校　3年（当時）
原田　璃子さん

「どんぐりいっぱい」
堅田幼稚園　3歳児（当時）
森田　葵さん

★標語の部

前を見て　みんなあなたの　味方だよ
葛川中学校　3年（当時）　鈴木　詩穂さん

いじめとか　しょうもない事　してんじゃねえ
中央小学校　6年（当時）　野村奏太朗さん

この命　帰りを待ってる　人がいる
皇子山中学校　3年（当時）　西内　友来さん

ありがとう　まいにちいうよ　えがおでね
伊香立小学校　3年（当時）　小林　惺絆さん

偏見を　やめて笑顔の　花が咲く
青山中学校　3年（当時）　綿貫　葵さん

子どもの居場所は、地域のいい場所

「子ども食堂」をご存知ですか。聞いたことはあるけど、どんなことをしているのか詳しくは知らない、といった方もおられると思います。多様化、複雑化する価値観、環境の中で育つ子どもたちのために、どういった取組が必要とされ、地域の一員である私たちはどういったことができるでしょうか。

今号では、子ども食堂を始めとした『子どもの居場所』づくりの取組をご紹介するため、「社会福祉法人　大津市社会福祉協議会」にご寄稿いただきました。

「子どもを取り巻く課題」と聞いて　どんなことを連想しますか?

現代の地域社会では、地域やご近所とのつながりの希薄化、地域福祉の担い手不足、「誰かがやってくれるだろう」の無関心社会が課題となっています。

子どもたちは不登校、いじめ、情報過多による生きづらさ、コロナ禍で行事への参加機会を失ったことによる影響、共働き世帯の増加等による孤食、子どもの貧困（7人に1人）など様々な課題が取り巻く環境で生活しています。また、親や学校の先生以外の大人との関わり不足に起因する他者とのコミュニケーション不足、体験を通じて学ぶ機会が不足しています。

学校の先生からも「生活困窮世帯の子どもは家庭学習の環境が整わないために、長期休暇中の宿題を提出できないことが多い。それが本人の学習意欲や自己肯定感の低下を招いている」との声が寄せられています。

このような現状から、子どもたちの生きる力を育み、課題を抱えた子どもが地域から取り残されないよう、地域で子どもに関心を向けてくれる人を増やすことや、歩いて行けて安心できる居場所をつくるこなど、地域の子どもは地域で育む取組が必要です。

大津市における子どもの居場所づくり

大津市では、子どもの居場所づくりや学習支援活動として様々な事業が展開されています。ここでは大津市社会福祉協議会が関わる3つの事業をご紹介します。まず1つ目に地域の子ども全般を対象とした「寺子屋プロジェクト事業」。2つ目に「子ども食堂」。最後に何らかのしんどさを抱える（家庭の）子どもを対象とした「フリースペース事業」です。

1　寺子屋プロジェクト

寺子屋プロジェクト事業は、大津市内の各学区社会福祉協議会が、主に長期休暇中の小中学生を対象に宿題支援や体験活動、居場所づく

りを行います。子どもの自己肯定感や学習意欲の向上を目指し、地域の子どもは地域で育み見守るしくみとして取り組まれています。

2 子ども食堂

子ども食堂は、子どもたちが食事、宿題、遊びなどを通して、安心して過ごすことができる場所です。現在、大津市内で48か所の子ども食堂が立ち上がり、様々な団体・グループが地域で活動しています。子どもだけでなく、子育てに疲れている親の〝ホッと〟する時間にも繋がっています。

3 フリースペース

フリースペース事業は、子どもが安心して過ごせる夜の居場所を、社会福祉施設を活用してつくる事業です。週に1回、福祉施設の空きスペースで、スタッフやボランティアと一緒にご飯を食べたり、お風呂に入ったりして過ごします。子どもたちはしっかり話を聞いてもらい認められる経験や、安心・信頼できる大人との関係構築、子どもらしく過ごすことができる経験を積み重ねています。

子どもの居場所は地域のいい場所

子どもの居場所づくりに取り組む方たちは、

- 自宅で集中して学習に取り組む環境がない子どもに対して、自分だけのスペースや学習環境を整える必要性を感じている。
- 子どもたちが「しんどい」「助けて」「教えて」等のSOSを発信した時に受け止めてくれる大人がいることを知って成長してほしい。
- 「誰でもここにいて良いんだ」という雰囲気を大事にして居心地のいい居場所を作っていきたい。
- 今の子どもたちに寄り添うことを大事にし、近所のおっちゃん、おばちゃんとしていつまでも繋がれる場所でありたい。

と語ります。

子どもの居場所は、地域の誰もが参加できる場から、何らかの福祉的な関わりを必要とする場など様々です。居場所を必要とする子どもが、安心して過ごせる場所があるからこそ子ども同士や、近所のお兄ちゃん、お姉ちゃん、大人との繋がりを築くことができます。また、自分の育った地域に愛着を持つことができるようにもなります。

子どもの居場所づくりを通じて、地域の子どもに関心を向ける人が増え、子どもを真ん中（主役）に置いた地域づくり、『子どもの居場所は地域のいい場所』となることを期待します。

社会福祉法人 大津市社会福祉協議会

みんなが安心して暮らせる福祉のまちづくりをめざす民間の団体です。

「住み慣れた地域や家庭で、安心して暮らしたい」これは誰もが願っていることです。しかし、地域には一人では解決できない問題を抱え、支援を必要とする方も生活しておられます。すべての人が「おおつ」に住んでよかったと思えるように、地域の住民やボランティア、福祉・保健などの関係機関と連携をとりながら、福祉のまちづくりに取り組んでいます。

住所：大津市浜大津四丁目1番1号明日都浜大津5階
電話：077-525-9316

WITOM風

今夏はパリオリンピックで、代表選手たちを夜を徹して応援された方も、たくさんおられたことでしょう。

勝負には必ず勝者と敗者が生まれますが、試合後には互いの健闘をたたえ合い、真剣勝負の感謝を込めて握手をして終わります。でもたまには、茫然とする選手、泣き崩れる選手、かたや嬉しさのあまりすぐにコーチのもとに駆け込んでしまう選手などもみられました。

それもまた、想像もできないほどの鍛錬をし、「日の丸」を背負う重責にいた人たちの、それぞれの「終わらせかた」なのか、と感じました。そしてそれも含めて４年に一度のオリンピックの意義や重さを感じた思いでした。

さて、最近のオリンピックには、「スケートボード」とか「ブレイキン」といった新しい種目が登場をしています。服装や頭髪が個性的で、みんななぜか明るい。そして互いに仲が良さそう。…でも試合が始まれば真剣勝負の顔になります。でもそのあとがまたちょっと違います。

大技を見事成功させた選手にはみんなが拍手をし、駆け寄ってたたえます。反対に大技に果敢に挑戦しながらも惜しくも失敗をした選手にも、みんなが駆け寄ってハグし勇気をたたえます。勝敗が決まりメダルの色が決まっても、その会場には、互いの技の素晴らしさや、挑戦への勇気に対する感動とリスペクトの気持ちが満ちていました。

がんばれ日本！と素朴に応援をしている私たち世代とはまた違う大切なものを、この若者たちはスポーツを通して体感し、発信していると感じ、オリンピックの新しい意義や価値を見た思いでした。

互いを認め合い、リスペクトする国際大会。新しい息吹を感じる新たなオリンピック像がそこにはあるように感じられ、ちょっと嬉しくなった「アツい夏」でした。

あとがき

近所の子ども食堂ではお店で大人が蕎麦を注文すれば、「子どものそば券」が渡され、その券を入口に置いておくことで、次に来た子どもたちは券を使って無料で食べられる〝思いやりのリレー〟という取組をされていました。この号の特集をきっかけに、こうした取組を知っていただき、子ども食堂に顔を出したり、フリースペースでのボランティアを検討してみたりと地域の子どもたちに関心を持っていただければ幸甚です。

ご意見やご感想は
〒520-0047
（大津市浜大津四丁目1-1明日都浜大津1階）
大津市 政策調整部 人権・男女共同参画課
（☎528-2791）まで

第48回「わたしと人権」作品を募集しています

人権を守る大津市民の会では「人権の尊重された明るい社会」をめざし、作文、詩、標語、ポスター等の募集を行っています。女性、子ども、高齢者、障害者、同和問題、外国人などの人権にかかわる問題をぜひ作品にしてご応募ください。

1 応募要領

⑴応募締切
令和６年12月９日(月)

⑵応募資格
大津市に在住・在学・在勤の方
市内の保・幼・こ・小・中・高校生の個人の作品については、学校園を通してご応募ください。ただし、高校生は直接応募していただいても構いません。

⑶募集作品（未発表の作品に限ります。）

部　門	応募にあたって注意すること等
作　文 詩	原稿用紙に記入(1,200字以内) 内容は、「感想文」・「主張」・「体験記」・「意見」など
標　語	ハガキまたは、ハガキ大の用紙でご応募ください。(ハガキ1枚で複数応募可能)
ポスター	画用紙(4つ切)。作品には、**人権の尊重された明るい社会にふさわしい文字**を必ず添えてください。
その他	**パネル1枚(横120cm×縦180cm)以内でパネルに掲示可能な作品** 人権尊重をアピールするにふさわしい作品(集団作品など上記四部門以外)

「住所・氏名・タイトル・年令・電話番号」を明記してください。

2 審査・発表

＊作品審査は令和6年12月下旬の予定。審査結果は公表し、入賞者には直接通知します。
＊特別賞・特選受賞者には賞状と記念品を、佳作受賞者には賞状を贈呈します。
＊特別賞受賞者には、「ほのぼの賞」・「すこやか賞」・「ふれあい賞」・「ときめき賞」・「さわやか賞」の各賞を授与し、表彰式で賞します。
＊入賞作品は、冊子「わたしと人権」や大津市のホームページ等で公表するとともに、様々な団体や機関の人権啓発活動の資料として活用します。公表する際には、作品、学校園名、学年、氏名(一般の方はお住まいの地域)が公表されますので、ご了承の上で応募してください。なお、作品の版権は大津市及び人権を守る大津市民の会に属しますのでご了承ください。
＊応募作品につきましては、原則返却いたしません。

3 送り先・問合せ先

〒520−8575　大津市御陵町3番1号
大津市教育委員会事務局　生涯学習課内
「人権を守る大津市民の会」事務局
☎(直通)528−2635

湖国の感動 未来へつなぐ
わたSHIGA輝く国スポ・障スポ2025
第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会